

符丁: 発言 新日曜付 / 仮見出し: 新聞を読んで

外部体裁のサイズ: 3 [段] 2 [字] × 45 [行]

縮小率: 100.00% ユーザーID: A2421470535T

「民主、300議席超す勢  
い」(8月23日)「民主30  
8 政権交代」(31日)とな  
った今、各省の予算執行に一  
時停止などが出ている。内容  
の精査も必要であろうが、こ  
と霞が関が言う「教育」とは  
何であろうか。

教育は国家百年の計であろ  
う(1日特報面「お金がなけ  
れば学べない国」)。いわゆ  
る「永田町埋蔵金」やバラま  
きといわれても致し方ないよ  
うな財政支出の一方、国家が  
破産状態であることをどれた  
けの人が認識しているのか。

教育への助成支出(対GDP  
比)はOECD加盟二十八  
カ国中、最下位であることは  
有名な話。資源のない日本が  
人材に頼るのは昔も今も同じ  
であろう。高校まではほぼ義  
務教育化されている今日の日  
本社会で、そこへの投資もさ  
ることながら、大学教  
育、生涯教育など社会と  
直結する意味で、メディ  
アの今日的话题になる「  
どが少なくなってきた。  
そこで、「博士課程の  
定員削減 必要?」(朝  
日9月7日教育面)のよ  
うな教育の質を問う記事  
が本紙に少ないのが気にな  
る。例えば「私大47%『入試  
に問題』」(8月21日夕刊)  
や「中学校テストで支持政党  
尋ねる」(30日社会面)のよ  
うに、発表ものやストレート  
記事でカバーしてはいるが、  
教育問題の本質に入り込むよ  
うな鋭さに欠ける。

後者については、本紙が約  
一カ月前、都内の中学校で総  
選挙に出馬しそうな候補者を

# 教育は国家百年の計

呼んで立会演説会を開き、模  
擬投票を予定したが中止に追  
い込まれたことを、トップ記  
事で流したことも関連する  
ニュースである。支持政党や  
その理由を尋ねることで、中  
学生が時事問題や政治に関心  
をもってもらうことを狙った  
授業計画を「生徒の思想信条  
に立ち入ることになり、配慮  
に欠けた質問」とのコメント  
で終わらせるのがジャーナリ  
ズムなのであるうか。

教養(が)教育、学ぶこ  
とを問うのが学問。それがい  
つの間にか「支援する(サポ  
ート)」「学習する(ラー  
ン)」「実習する(トレーニ  
ング)」、効率がいいこと、  
研究費を取ってやることがい  
い教育だと思いつくようにな  
った全体的状況を生み出して  
きたものは何なのか。



鈴木 雄雅

もちろん、教育面において  
それらを全否定している  
わけではない。多様性は  
必要である。しかし、大  
学のみならず、教育の質  
はますます悪い環境に陥  
っているにもかかわら  
ず、実はその事実をうす  
うす知っているにもかか  
わらず、貴重な税金を何  
のために使うかより、どう使  
って支出するかに長けた能力  
を使うのは、まさに公僕とし  
ては無駄な出費ではないだろ  
うか。

教育は国家百年の計—それ  
は百年来の未曾有の経済危機  
(この言葉の危つさをメディ  
アは追求もせず、垂れ流し)よ  
りも深刻だ。(上智大学教授)  
※この批評は最終版を基に  
しています。

## 新聞を 読んで

50  
40  
30  
20  
10  
00  
00  
10  
20  
30  
40  
50  
60  
70  
80  
90  
100